

## 当院における成人鼠径ヘルニア修復術の検討： 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術と Mesh-plug 法 の比較検討

ふな つか まさ ひで                      こ にし い ち ろう  
舟 塚 雅 英                                      小 西 伊 智 郎  
ない どう                                      あつし                      すぎ はら と し お  
内 藤    篤                                      杉 原 登 司 夫

キーワード：成人鼠径ヘルニア，Mesh-plug 法，腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術  
(経腹的腹膜前修復法：transabdominal mesh repair 法)

### 要 旨

当院では、1995年より成人鼠径ヘルニア症例に対し、in-lay 術式である腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術（経腹的腹膜前修復法：transabdominal mesh repair 法：TAPP 法）を積極的に施行し、2003年より on-lay 術式である Mesh-plug 法による tension-free 鼠径ヘルニア修復術（MP 法）を開始した。症例数は2006年1月から2015年12月までの10年間で、TAPP 法：52例，MP 法：61例，合計113例を経験している。今回、一施設内での成人鼠径ヘルニアに対する手術成績などを比較検討した報告が少ないので、当院での TAPP 法と MP 法について、手術時間，術後在院日数，術後合併症，症例数の推移などの観点から比較検討し，若干の文献的検索を加え報告する。

### はじめに

成人鼠径ヘルニアに対する手術は，Bassini が130年前に発表して以来<sup>1)</sup>，数々の術式が報告され，1990年代に入り，mesh を用いたいわゆる tension-free 術式が日本に導入された。その成績が徐々に優れていることが明らかになり<sup>2,3)</sup> on-lay

術式として，Lichtenstein 法，Mesh-plug 法（以下 MP 法）PROLENE hernia system 法，proloop 法，in-lay 術式として腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術，Kugel 法などが行われている。当院では山陰のなかでも比較的早期から（1995年より）積極的に腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術（以下 TAPP 法）を施行し<sup>4)</sup>，on-lay 術式として2003年頃より MP 法を主に施行している。今回，一施設での成人鼠径ヘルニア症例に対する手術成績，特に当院のように比較的症例数のある TAPP 法を含めた手術成績を比較検討した報告が少ないの

Masahide FUNATSUKA et al.

松江記念病院外科

連絡先：〒690-0015 松江市上乃木3-4-1

松江記念病院外科